

## ■平成22年度の取組（県として主に取り組んだこと）

### ■ごみゼロフォーラム～ごみゼロ社会をめざす「もったいない」を活かした地域づくり～

日 時：平成23年1月29日（土）13時15分～16時00分

場 所：県庁講堂

参加者：約230名

#### ●趣旨

「ごみゼロ社会実現プラン」の改定にあたり、様々な視点からご意見をいただくパネルディスカッションや、ごみゼロについて自分の問題として考え、取り組んでいただくきっかけとなるよう、「もったいない」をテーマとした環境講談などを内容とする「ごみゼロフォーラム」を開催しました。

#### ●内容

- ・環境講談「もったいない善兵衛」 講談師：神田紫 氏
- ・ごみゼロソング合唱（嬉野コールジョイ）
- ・パネルディスカッション
- ・ごみ減量・環境活動に関する取組の展示（16団体）

#### ●参加者のアンケート意見

- ・NPOや企業、教育機関それぞれが一丸となって地域全体でごみをなくしていくことがいかに大事かと強く感じた。
- ・ごみ減量の目標が達成されている事を知りませんでした。ちょっとびっくりです。
- ・普段知る機会がないので、さまざまな取組が展示され、紹介されているので有益でした。



県内各地から多くの人に参加してもらえたゼロ！  
いろいろな取組の工夫があって、参考になったゼロ  
またみんなに会いたいゼロ



神田紫さんの環境講談



嬉野コールジョイの合唱



パネルディスカッション



環境取組の展示

## ■地域ごみゼロ推進交流会

地域のごみ減量化取組の活性化をめざし、桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲・熊野の県内 8 地域で各農林（水産）商工環境事務所環境室が主催し、住民やNPO団体等のみなさんで、地域での取組発表・先進事例の紹介・意見交換等の情報交流や見学会、講演会などを実施しました。

### ● 桑名 ごみゼロ交流会 in 丹生川っ子祭

11 回目となる今回は、「ごみゼロ交流会 in 丹生川っ子祭」として、環境と防災の視点を取り入れ、いなべ市立丹生川小学校で開催されました。

子どもたちは、ごみを出さないよう持参したマイ箸とマイ椀を使用し、豚汁を食べました。この豚汁は、地元の食生活改善推進協議会の方々が作られ、いなべ市で採れた食材を使用するなど地産地消にも取り組み、野菜の端材を使用するエコの観点も取り入れたものになっています。

また、「乾パン（防災用非常食）に試食」、「リサイクルマーククイズ」、「環境紙芝居」、「防災・環境 O×クイズ」をとおり、楽しみながら環境と防災について考えました。

最後に子どもたちは、「わたしの環境宣言」と題して、当日学んだことを参考に、「落ちているごみを拾う」、「なるべくごみを出さないようにする」など、今日から取り組む環境にやさしい行動を挙げ、その実践を自分自身に約束しました。

- ・日時：平成 22 年 11 月 20 日（土）
- ・場所：いなべ市立丹生川小学校
- ・参加者：270 名（保護者含む）



マイ箸、マイ椀で食事

### ● 四日市 ごみゼロウォーク・エコフェア in 四日市大学

子どもから大人まで、ごみ減量化など環境活動について楽しみながら学んでいただくことを目的に、四日市大学環境学習サークルの学生たちとの共催で、「ごみゼロウォーク・エコフェア in 四日市大学」を開催しました。

「環境体験・交流コーナー」では、環境活動団体 10 団体が出展し、リサイクルや水生生物に関する展示、竹を使った手作りおもちゃの体験などが行われました。

「ごみゼロウォーク」では、来場者・団体・スタッフ合わせて約 100 名が参加し、3 班にわかれて大学・小学校周辺の道路を清掃しました。清掃後、参加者には、地元大矢知産の流しそうめんを提供しました。大学周辺の間伐竹で作られた台を流れてくるそうめんを参加者の皆さんは、マイ箸・マイ椀を使って楽しく食べていました。

大学生、自治会、スポーツ少年団など地域の方々との協働で事業を実施したことにより、より深く環境意識の高まりを感じることができました。

- ・日時：平成 22 年 7 月 31 日（土）
- ・場所：四日市大学
- ・参加者：約 100 名



ごみゼロウォーク



環境 体験・交流コーナー



● 鈴鹿 地域ごみゼロ推進交流会「夏の鈴鹿川体験」



マイ箸づくり体験

NPO法人市民ネットワークすずかのぶどうが事務局となり開催する「夏の鈴鹿川体験イベント」の実行委員会に参加し、イベント全体に「ごみゼロの視点」が活かされるよう、マイ箸やマイ椀、マイカップの持参、リユース食器の使用、不要物の有効利用、イベント全体のごみ減量などの取組を行いました。

また、「マイ箸づくり体験講座」のブースを出展し、尾鷲ひのきの間伐材を削ってマイ箸を作る講座に約90名の親子に参加いただきました。

マイ箸づくりの参加者は、自分や家族が使うことを想定して真剣に作業を行い、完成した箸を「今日から使いたい」と感想を話していました。

なお、イベントを通して、参加者へのごみ分別、ブースのごみを出展者に持ち帰るよう徹底したこと、飲食物についても、リユースカップやマイボトル、リユース食器を使用することで、環境に配慮したイベントとなりました。

- ・日時：平成22年8月22日（日）10時～15時
- ・場所：鈴鹿川河川緑地（鈴鹿市）
- ・参加者：約1,000名（イベント全体）

● 津 津地域ごみゼロ推進交流会～食からライフスタイルを考える～

食を通してライフスタイルを見直し、ごみゼロ社会を考える機会を提供することを目的に交流会を開催しました。

三重中京大学短期大学部土井喜美子教授から「ごみゼロからの食育ーしっかり食べる子どもー」と題して



熱心に話を聞く参加者



土井喜美子教授の講演

基調講演があり、「食品ロスを減らす必要性」、「食べるときのマナー」、「調理時に出るごみ」、「もったいない・食への感謝」などについて、お話しいただきました。

事例発表では、学校現場の取組事例として「成美小学校」、「豊が丘小学校」、「香良洲小学校」から、給食の残飯と調理くずから堆肥づくりに取り組む事例や海岸清掃の事例などが紹介されました。堆肥化事業者の事例では、「有限会社三功」、「(株)エコくるセンター」から地域と連携した堆肥化への取組が報告されました。

参加者全員の意見交換では、「夏場は水分の多い生ごみが多く乾燥も大変なため、燃えるごみに出したら、ごみの量がものすごく増えた。堆肥化はごみ減量に役立っているのがよくわかった。」など多くの意見が出されました。

- ・日時：平成22年7月24日（土）
- ・場所：津市西部クリーンセンター
- ・参加者：60名

●松阪 チャレンジ！ごみゼロフェスタ 2010～松阪地域ごみゼロ推進交流会～

子どもやその家族、地域の方々が楽しみながら、ごみ減量化や環境への興味を持つ機会を提供するため、「チャレンジ！ごみゼロフェスタ 2010～松阪地域ごみゼロ推進交流会～」を開催しました。

「展示・体験コーナー」では、環境活動団体・こどもエコクラブ・市町等の活動紹介を展示、ごみゼロクイズ、ゼロ吉ぬりえ、ペットボトル工作、風呂敷活用展示などで楽しんでいただきました。



ごみゼロじいさんの講演

また、「ステージコーナー」では、「イオン明和チアーズクラブ」の活動発表、「嬉野アイリス」の「リフォームファッションショー」、「はるくま＊おはなし」の「環境紙芝居」、日下部茂世氏による「みえゴミゼロじいさんのひとくふう」の講演など盛りだくさんの内容でした。

これら環境活動団体の取組の紹介、講演・紙芝居、リサイクル工作、環境クイズを通して環境学習を行うことで、ごみの減量化につながる“もったいない”精神について考えてもらうイベントとなりました。

- ・日時：平成 22 年 10 月 24 日（日）
- ・場所：三重県立みえこどもの城
- ・参加者：約 370 名（施設全体入場者数 1,086 名）



環境紙芝居

●伊勢 「できることから始めよう・美しい私たちの伊勢志摩のため」

(伊勢志摩地域ごみゼロ推進交流会・講演会)

地域みなさんにごみ問題の現状や先進的な取組事例を知っていただき、地域における 3R の推進に向けた取組につなげていくことを目的に、伊勢志摩地域で環境保全活動を行っている「きれいな伊勢志摩づくり連絡会議」と共催で開催しました。

午前中の交流会では、国立大学法人三重大学学長補佐朴恵淑氏（現在、理事・副学長）をアドバイザーに迎え、「鳥羽市相差町内会会長中村氏」、「志摩夢まちサポーターズ代表竹内氏」、「伊勢友の会滝川氏」、「主婦の玉山氏」、「NPO 法人植える美 in g の相可高等学校生産経済科のみなさん」から身近な環境における活動を発表し情報交換を行いました。

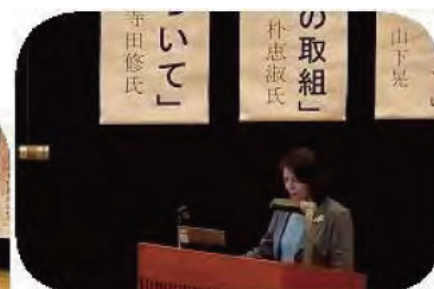
午後からは、県から「県内のごみの現状」について報告した後、三重大学の朴氏による「世界一の環境先進大学」をめざす取組について、また、トヨタ自動車株式会社堤工場の寺田氏から「堤工場サステナブルプラント活動について」と題して、自然を活用し、自然と共存できる工場をめざした取組について講演していただきました。

約 80 名の方々に参加いただき、住民・NPO・行政間の対話を促進し、今後の活動に新しい展開をはかっていくきっかけとなりました。

- ・日時：平成 22 年 12 月 4 日（土）
- ・場所：ハートプラザみその多目的ホール
- ・参加者：午前 69 名・午後 82 名



交流会



講演会



●伊賀 ～ごみと資源は紙ひとえ～伊賀地域ごみゼロ推進交流会 in 市民夏のにぎわいフェスタ 2010

伊賀市の夏の恒例行事「市民夏のにぎわいフェスタ」に「ごみと資源は紙ひとえ」をテーマとしたブースを出展し、幅広く市民の皆さんにごみゼロの取組をPRしました。

ブースでは、来場者に牛乳パックを使用してオリジナルはがきを作る「紙すき」や環境にやさしい生活を行っているかを判定する「もったいないチェック」を体験していただきました。また、伊賀市で7月から始まった容器包装プラスチックの分別収集について、わかりやすく理解していただくために、実際のプラスチックごみを使った「分別ゲーム」を行いました。

これらの体験を通して、分別すればごみが資源になることなど、環境にやさしい生活スタイルを考えていただく機会になりました。

- ・日時：平成 22 年 8 月 22 日（日）
- ・場所：伊賀市内中心市街地
- ・参加者：約 150 名



紙すき体験



ブース前のゼロ吉

●尾鷲・熊野 ごみゼロ推進交流会 in 熊野・尾鷲

家庭や職場における自主的・自発的なごみ減量の取組を進めていただくことを目的に、尾鷲及び熊野地域合同による施設見学会と体験学習を行いました。

施設見学では、紀南清掃センターRDF（ごみ固形燃料）化施設の概要説明の後、施設内を見学し、普段出しているごみがどのように処理されているのかを学びました。



施設見学

その後、三重県環境学習情報センターの吉田晴子氏を講師に迎え、買い物ゲームを行いました。家庭から出るごみのうち、容器包装ごみが体積比で全体の約 6 割を占めるため、このゲームを通じて、買い物時にできるだけごみが出ない商品を買うことがごみの減量化につながることを学びました。

最後に、個人でごみの減量についてできることをグループにわかれて考え意見交換を行いました。

参加者一人ひとりが、「ごみゼロ」について考える機会となりました。

- ・日時：平成 22 年 10 月 24 日（日）
- ・場所：南牟婁清掃事業組合紀南清掃センター
- ・参加者：42 名



買い物ゲーム

## ■とどけ！こども会議

こども局では、子どもが自らの力を発揮して健やかに育つことのできる地域社会づくりの取組の一環として、子どもたち自身の思いを発信したり、夢を実現したりする機会としてもらうため、「こども会議」を実施しています。

その取組のひとつとして、『ゼロ吉と学ぶ「ごみゼロ社会」～私たちにできること～』をテーマに、子どもたちに意見を出し合ってもらいました。

### ●「くまの」ちびっ子ボランティア

日 時：平成 22 年 10 月 16 日（土）

場 所：熊野市保健福祉センター会議室

参加人数：16 名



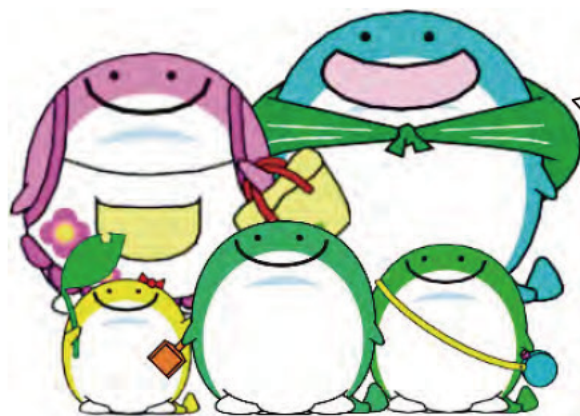
グループ討議



アイデアの数々

内 容： ごみゼロDVDにより、三重県のごみの現状を説明後、グループにわかれ、ごみを減らすためのアイデアや、ごみを減らすために大人にしてもらいたいことなどを話し合いました。

子どもたちからは、「三重県の全学校で『ごみを出すな』と先生に言うてもらおう」、「小さくなった服や使わなくなった物は誰かにあげる」、「壊れたものは修理する」、「野菜の捨てる部分も捨てないで食べる」などたくさんのアイデアを発表してもらいました。



多くの皆さまにご協力いただき、ありがとうございました。

これからも「ごみゼロ社会」に向けた取組は続きます。お近くで開催の際は、ぜひともご参加ください。



## ■ゼロ吉くんレポート

●2011住友電装グループ環境展「今こそ意識を変えるとき。見直そうライフスタイル」

平成23年11月15日～16日に住友電装株式会社で、「今こそ意識を変えるとき。見直そうライフスタイル」をテーマに「環境展」が開かれました。

「環境展」は、全従業員を対象にした環境教育の一環で開催しています。2日目は、従業員のみならず、地元自治会の皆さんなど地域の方にも開放しています。

その内容を僕が紹介するぜっ♪



今回の環境展は、企業の「環境理念」から「具体的な取組」までわかりやすくパネルが並び、特に「震災ゾーン」では、自分たちにできることに焦点をあて、この夏の節電や省エネへの取組、「災害対応型乾電池」の展示など、多くの従業員の関心を集めていました。

また、「ごみ分別クイズ」、「水の汚れ度チェック」を楽しく体験でき、最後に従業員から応募のあった「エコ川柳」の秀逸作品への投票を行うなど盛りだくさんの内容となっています。



パネルに見入る従業員

安全環境部部長 森田亮一さん

毎年、全従業員 1,800 名を対象とした環境教育を目的に開催していますが、動線も考え、その時々話題性のあるものを展示するよう工夫しています。今年は、震災を大きなテーマとしています。昨年は、COP10 の開催で、会場内に森をつくる、水槽を設置するなど、「絶滅危惧種」寸前の生物を展示しました。環境展は、従業員の環境意識の向上はもとより、日々の事業活動そのものが環境負荷の軽減につながっていることを再認識できる場と考えています。





ゼロ吉がお出迎え



水の汚れ度チェック



ごみ分別クイズ



安全環境部 井上愛子さん

従業員からは、体験するものが多いという意見が多く、何がいいか、マンネリ化を避け時間と費用を考えながら、アイデアについて試行錯誤します。今回、体験を通じて環境のことをもっと知ってもらおうと考えたのが、体感ゾーンです。ここまでくるには、なかなかまとまらなかったり、インパクト不足と言われたり。ここが苦労しますね。部内での活発な協議を繰り返して、やっと出来上がります。

## ●国際しゃべり場&セミナー



国際しゃべり場&セミナー

平成22年7月15日鈴鹿国際大学で開催された、環境をテーマにした講演会とディスカッションに参加しました。講師に上智大学大学院地球環境学研究科在籍のグレッグトレンチャー氏を迎え、「地球と私たちの生活」と題して講演があり、その後、ディスカッション「国際しゃべり場」が行われました。

参加者は、中国、ポリビア、韓国、ミャンマー等からの留学生を含む鈴鹿国際大学の学生、高校生、地域住民、行政、企業、農業従事者など、総勢80名の参加がありました。

国際しゃべり場では、「ごみをなくすためにできること」と題して、日常生活で取り組んでいることをいろいろな国の方と語り合いました。





● やすらぎくんネット

平成 18 年 3 月に設立された「やすらぎくんネット」は、鈴鹿市及び亀山市の地域に根ざした様々な団体が所属し、鈴鹿川流域の自然環境や歴史文化を守る各種活動を行っています。現在、会員数は 30 名。いろいろな職業の人が加入しています。事務局は、NPO 法人市民ネットワーク すずかのぶどうが担当しています。



夏の鈴鹿川体験



鈴鹿川流域の環境展



会長の森田幹男さん

現在は、主に鈴鹿川を主体とした「夏の鈴鹿川体験」そして「鈴鹿川流域の環境展」の 2 つのイベントを通じて川を大切に作る人づくり、自然環境を守る地域づくりにつなげる取組を実施しています。

ごみの減量化やリサイクルを意識した工夫が積極的に取り入れ、次世代につながる環境意識を育むことを大切にしています。

イベントでは、川歩き体験やいかだ流しをはじめとする様々な参加体験や環境に関する展示・ワークショップ等、子どもから大人まで楽しめる内容になっています。

■ 三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」



僕は、三重の豊かな森から生まれた森の妖精。  
人間で言うと小学 4 年生くらいかな。  
僕が大人になった時も自然豊かな三重県であって欲しいから、  
資源を大切に暮らしているよ。  
人間がたくさん出すごみを食べたので、  
今は、ちょっと太めな体だけど、大人になった頃には、  
ダイエットしてスリムになるぞ〜。

## ■ゼロ吉着ぐるみ「エアゼロ吉」の活躍

平成 22 年度は、貸出も含めて年間 52 回のイベントに参加しました。県内北から南まで、時には県外のイベントにも参加し、たくさんの方々と交流を深めました。



県庁見学



運動会で活躍するゼロ吉

## ■ゼロ吉着ぐるみ「エアゼロ吉」の貸出

ゼロ吉は、三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」推進の啓発キャラクターとして平成 19 年 10 月に誕生しました。出来るだけ多くの県民の皆さんにゼロ吉に会っていただきたいため、エア式のゼロ吉の着ぐるみ（エアゼロ吉）を各種イベントに貸出しています。

以下のいずれかに該当する、原則県内開催のイベントに貸し出していますので、地域・企業のイベント等でご使用ください。

- ①ごみゼロ社会の推進や普及、啓発に寄与するもの
- ②地域の振興に寄与するもの
- ③文化、教育、芸術、スポーツ、観光、商業等の普及、振興に寄与するもの
- ④その他、公益の増進に寄与すると認められるもの

着脱、操作も簡単です。HPにある申込書に必要事項をご記入の上、お気軽にお申込みください。お待ちしております。





# ごみゼロソング

作詞/藤島 幸 作曲/家城 和子  
うた/山本 航大 コーラス/山本 宙 吉田千夏  
プロデュース/エフエムよっかいち株式会社

① 捨てる前に かんがえる 3R (スリーアール) だね ゼロパパ【ゼロパパ】  
レジぶくろは いりません マイバッグ自慢の ゼロママ【ゼロママ】  
ごみは正しく わけましょう 分別できるよ ゼロ吉くん【ゼロ吉くん】  
きっと明日は 変わるはず 青い空が よろこぶよ  
ぼくも がんばろう みんなで めざそう わたしも がんばろう みんなで めざそう  
ごみゼロ社会 (×4回)



② 水筒もって でかけるよ マイボトルの ゼロ助くん【ゼロ助くん】  
ごはんは残さず 食べます すききらいなないよ ゼロ美ちゃん【ゼロ美ちゃん】  
物は大事に 使います ゼロ吉ファミリー  
きっと明日は たのしいよ 森の木々が ささやくよ  
ぼくも がんばろう わたしも がんばろう みんなで めざそう ごみゼロ社会  
ぼくも がんばろう みんなで めざそう わたしも がんばろう みんなで めざそう  
ごみゼロ社会 (×4回)



この「ごみゼロソング」は、「三重県ごみゼロホームページ」で聴けるゼロ♪

平成23年(2011年)度版

## ごみゼロレポート

～みんなでめざそう“ごみゼロ社会”～  
平成24年3月

三重県環境森林部ごみゼロ推進室

〒514-8570 三重県津市広明町13

TEL : 059-224-3126

FAX : 059-224-2530

Mail : gomizero@pref.mie.jp

三重県ごみゼロ 検索

三重県ごみゼロホームページ <http://www.eco.pref.mie.lg.jp/gomizero>

- ・「エアゼロ吉」の貸出
- ・「ゼロ吉」ファミリーのキャラクターご使用
- ・ごみゼロメールマガジンの配信登録は、こちらからどうぞ!